

最先端施設及び最新冷凍・空調設備 県外視察研修会

日時 令和7年9月24日(水)～9月26日(金) <2泊3日>

宿泊先 神戸三宮東急REIホテル 〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6-1-5 TEL: 078-291-0109

出発便 那覇空港発 ANA 1723便(7:30発) → 関西空港着(9:25着)

帰便 伊丹空港発 JAL 2087便(14:50発) → 那覇空港着(16:50着)

1日目 関西空港エアポート(株)関西空港ターミナルビル <脱炭素に向けた省エネの取組 水素・再生エネ活用等>

- 10:00 ①省エネルギーの推進<空調・照明の高効率化・BEMSによるオペレーションの最適化>
- ②太陽光発電の導入<国内空港最大規模の太陽光発電(Sora×Solar®)>
- ③地域冷暖房の活用<高効率の大型熱源設備・化石燃料及びフロン漏洩の削減効果>
- 11:50 ④水素の利活用<水素ステーションの設置・燃料電池車両(バス、フォークリフト含む)導入>
- ⑤ZEVの導入推進<業務で使用する車両にEV やFCVなどのエコカー導入>
- ⑥廃食用油から作る SAF<CO2排出量削減への対応としてSAF導入10%目標>



1日目 (株)明治 関西アイスクリーム工場 ※調整中の為、他の食品加工場等に変更になる場合もございます

13:00 地球環境への負荷を低減するために、優れた省エネ性能をもつ設備の導入に努めている。一部の工場では「トップランナー制度」の対象機器を導入している。優れた省エネ性能を持つ設備導入のほか、機器の運用改善による稼働時間短縮などを組み合わせ、積極的に省エネ化を推進している。

14:50 ・NH3/CO2自然冷媒及び過冷却ユニット、二元ユニット、チラーユニット等冷凍機見学
・製造ライン見学【ドリンクヨーグルト・ソフトヨーグルト・カップヨーグルトライン】



1日目 (株)ニチレイ・ロジスティクス関西咲洲物流センター <最新の災害及び品質管理に対応した物流倉庫> ※自然冷媒導入

15:30 同物流センターは、国内屈指の物流の要衝地が集まる関西圏でも最大規模となる
16:50 40,100トンの冷蔵設備能力を有しており、主要幹線道路へのアクセスも良好。また、構造面では免震構造の採用による世界最高水準の地震対策、品質管理面では当社グループでも最高レベルのセキュリティ対策を組んでいる。

設備能力 【40,100トン(F級冷蔵庫 30,493トン、FC級冷蔵庫 8,752トン、C級冷蔵庫 855トン) 高周波解凍機、凍結室、検品室完備】
接車バース【冷蔵庫棟:31基、荷捌棟:14基】



2日目 パナソニック(株)草津工場 H2 KIBOU FIELD <純水素型燃料電池・太陽電池・蓄電池で工場RE100を実証する発電プラント>

10:00 パナソニックは、滋賀県草津市の燃料電池工場で消費する電力を100%再生可能
12:00 エネルギーで賄う発電プラント「H2 KIBOU FIELD」を、2022年4月に本格稼働した。この施設は、対象となる工場が必要とする電力(ピーク時:約680kW、年間電力量:約2.7GWh)を想定し、工場棟の陸屋根とほぼ同面積約4,000㎡で構成されている。敷地内には、5kWの純水素型燃料電池99台、315Wの太陽電池モジュール1,820枚(約570kW)に加えて、約1.1MWhの蓄電池を配置。工場が必要とする電力を太陽光で賄うには広大な設置面積が必要になる上、天候の影響を受けて発電量が不安定になるため、純水素型燃料電池で約8割を賄い残り約2割を太陽光が補う。
※今回は特別にエネファーム製造ラインの工場見学も行います。



2日目 パナソニック京都ビルZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) <既存設備のリニューアルで、一次エネルギー消費量(BEI値)0.47を実現>

13:30 2023年4月にパナソニック京都ビルのZEB化リニューアルを実施した。建物躯体の外皮改修
15:00 をしない設備改修と運転制御で、再生可能エネルギーを除く一次エネルギー消費量(BEI値)0.47を実現。基準一次エネルギー消費量から50%以上の省エネルギーを示すZEB Readyを達成した。また、ソーラーカーポートを追加し、V2X(Vehicle-to-Everything)システムと組み合わせることで、クリーンエネルギーによるレジリエンス強化を実施。既存太陽光発電システムとの組み合わせで、全体のBEI値0.42を達成しました。



3日目 三菱重工サーマルシステムズ(株)神戸製作所 <ターボ冷凍機製造工場・地下水を蓄熱層として利用の帯水層蓄熱設備>

9:30 ターボ冷凍機で国内シェア70%を獲得するトップメーカーの三菱重工サーマルシステムズ
11:30 のターボ冷凍機生産工場と帯水層蓄熱システムの施設見学を行います。
※帯水層蓄熱システムは、50～100mの地中に位置する帯水層に地下水を蓄え、これを蓄熱槽に見立てて冬期暖房時の冷排熱を夏期冷房に、夏期冷房時の温排熱を冬期暖房に利用するもので大阪・関西万博での実装も決定しております。

